

成田山公園散策報告(2023年11月27日(月))

初めの計画では26日(日)に実施する予定だったが、前日になって気象情報が「千葉地方では日中小雨が降る」という予報に変わった。花菖蒲や紫陽花など花は上から見ることができるが、“紅葉”は下から太陽の当る葉を透かして見たい、それで急遽翌日の晴天を狙って日程の変更を申し出た、結果はこれまで参加の予定だった人達は都合が悪くなって参加されないことになってしまった。最終的には伊藤さんと二人で出かけることになった。

10時に「京成成田駅」で伊藤さんと合流して出発した。直ぐ目の前にJR成田駅があり、そこから「表参道開運通り」が始まる、道は両側に歩道のある一方通行の石畳の道で、歩道と車道の境界に50cm位の石塔が立ち、所々に灰色の花崗岩製の十二支の置物が並んでいた。途中から少し狭い下り道になり、両側にはお土産屋、うなぎ屋、漬物屋などが並んでいる。特にまだ10時前なのに鰻屋の「川豊本店」では、店に入るのか持ち帰り品を買うためか行列ができていた。因みに、表参道付近で約60軒ある鰻屋で、断トツの人気を誇るそうだ。

「表参道」の坂を下った所に立派な「総門」があった。くぐると2回に分けて石段があり、「仁王門」をくぐると荘厳な「大本堂」があった。平日のためか参拝客はそれ程多くない、「七五三」のお参りの晴れ着姿の子供を連れた親子連れも見受けられた。本堂でお参りして、裏手から山に登り「額堂」、「光明堂」、「奥の院」を経て「平和大塔」へ出た。この塔は真言密教の教えを象徴するものであるとか。

ここから「成田山公園」へ下って行く。周りはイチョウの黄葉とカエデ・モミジの紅葉が混じりあい、晴天の日差しを受けて綺麗に映えている。山を下ると「上の池」、更に「中の池」へ出る。左手に「書道美術館」があったが、今日は月曜日で「休館」だった。更に「下の池」へ向かう。池の中に栈橋で結ばれた「浮御堂」がある。堂に登ってみると和服の若い女性が、助手の女性に小型犬に着物を着せて写真を撮らせていた。SNSとか動画に載せようとするのであろうか。植木屋さん二人が籠付きクレーン車で松の木の剪定作業をしていた、他の木々も大方徒長枝を切り、綺麗に剪定されていた。この公園は入園料を取らないので、これらの費用はお寺さん持ち、もっとお賽銭をはずまないといけないな。

「下の池」の反対側の藤棚へ廻り、そこから本堂の方へ向かうために小山を登って行く。本日低いのが二座目の登頂。頂上ですれ違った老ご夫婦が「土曜日に明治神宮外苑のイチョウ並木道で黄葉を見てきたが綺麗だったよ」と教えてくれた。そう云えば、「八王子：甲州街道のイチョウ並木」のイチョウはもう見頃を過ぎただろうな。

山の反対側の本堂へ下り、多くの参拝者達を横目に見ながら「総門」へと下った。11時55分、総門を出て仲見世通りへ。途中の鰻屋のお店では、相変わらず大勢が行列してお土産を調達している。

12時20分にJR成田駅前の「サイゼリア」に到着、喉を潤し昼食を摂りながら歓談、伊藤さんに来年の山行計画に加える案を色々お願いした。前から固まっていた来年前半の計画に加えて、「夏の大型山行」や秋までの計画の話をした。14時過ぎによりやくお神輿を上げて、14時21分の快速で帰途に着いた。



綺麗な紅葉



紅葉



「浮御堂」



「成田山新勝寺：総門」



写真：<https://youtu.be/7uO7qLrf7X8>